

MELON

情報紙



Miyagi Environmental Life Out-reach Network

2010年1月★第86号



謹賀新年



世界が見つめる「希望の港」

理事長 長谷川 公一



MELON 会員のみなさま、新年明けましておめでとうございます。COP15 も残すところ、あと3日。明日16日からはいよいよ閣僚級会合が開かれます。

温暖化問題の研究の一環として、5日に到着し、滞在も11日目を迎えます。12月10日にはCOP15のサイドイベントでエコdeスマイルコンテストと全国大会の意義について報告し、パキスタンやインド・台湾・韓国などの人々から反響を得ました。同じく10日に、神戸国際会議場とスカイプで同時中継し、COP15と市民との関わりについて報告しました。

温暖化会議をとおして、現代がどういう時代なのか、ということを感じています。第一のキーワードは、「The world is watching (世界が見つめている)」ということです。世界194ヶ国から3万4000人の登録参加者がコペンハーゲンに来ていますが、会議の様子は、インターネットをつうじて、世界中に同時中継されています。文字どおり世界が見つめている会議です。第二のキーワードは「もう待たなし」。先送りは止めてここで決めよう。議長役の49歳の女性、コニー・ヘデゴーさんはじめ関係者みんなが強調しています。第三のキーワードは、希望です。コペンハーゲンは、「商人たちの港」という意味です。Copenhagenを

Hopenhagen (希望の港) に変えよう、女性市長の開会のあいさつの言葉です。街中にこのポスターがあふれています。

低炭素社会をめざして、世界が大きく変わろうとしています。環境NGOは、市民社会の代表として、この会議を見守り、発言し、より前向きな合意に向けて圧力をかけ続けています。

MELONという愛称を紹介すると、とても受けません。微笑みが返ってきます。世界中の人がみんなわかってくれるいい名前であることを、あらためて痛感しています。

世界が低炭素社会に向かう2010年。MELONも、地元と世界を結んで、力強いメッセージを発信し続けていきましょう。雪のコペンハーゲンにて。

(12月15日)



COP15のサイトイベント「低炭素アジア」
大木浩 JCCCA 代表と長谷川理事長

会員状況

1,025名

法人 102
任意団体 16
個人 907
2009年12月15日現在



COP15 MELON 代表派遣

COP15 コペンハーゲン会議に MELON の代表として、中田俊彦先生(ストップ温暖化センターみやぎ運営委員、東北大学大学院工学部教授)を派遣しました。長谷川理事長も現地で活躍されました。現地レポートは MELON のホームページに掲載しています。また、報告会を2月頃に開催予定です。お楽しみに。

MELON 協力商品券を利用しましょう。

「MELON 協力商品券」を積極的にご利用ください。利用額の一部が MELON に寄附され、皆さんの日頃のお買い物行動から環境を守る活動に役立つ仕組みが作られています。

*** Index ***

- P2. まちなかeco マルシェ
- P3. MELON 食育講座
- P4. MELONcafe
シリーズ かんきょう読み聞かせ
- P5. 協同組合のコーナー
MELON20周年を目指せ!
50人リレートーク
- P6-7. ストップ温暖化センターみやぎ「通信」
エコdeスマイルコンテスト in みやぎ
Forever Green Concert
- P8. 投稿欄、編集後記